

多彩なライフスタイルを描くまち 真庭

Maniwa Public Relations

広報真庭

5

2019

第169号

- | | |
|---------------|------|
| ●特集 2019年度予算 | P02～ |
| ●真庭市表彰 | P08～ |
| ●市政トピックス | P10～ |
| ●お知らせ | P12～ |
| ●真庭が好きっ読者の広場 | P24～ |
| ●真庭人 松本高明さん | P28～ |
| ●健康のススメ | P29～ |
| ●ぐるっと真庭 まちの話題 | P30～ |

主な記事

新元号『令和』
新たな時代が始まる

4月12日、月田小学校5年生7人が、
5月1日から始まる新たな元号『令和』を
書道の授業で書きました。



真庭市の主要事業を
見てみましょう



財政課
石坂直也 上級主事

2019年度予算から見る 真庭市のしごと

行政のしごとにはどんなものがあるのでしょうか。
災害に対し何を備え、人口減少への対策として何を行
うのでしょうか。真庭市職員と一緒に、今年度の当初
予算から主な事業を中心に見てみましょう。

命を守るしごと

市民の命を守ることは行政の最重要課題です。平成30
年7月の豪雨を受け、今年度の予算は命を守ることに重
点を置いた編成になっています。

▼河川しゅんせつ土受入地 設置事業 500万円

河川しゅんせつ土受入地を
新たに設置し、県が実施する
河川しゅんせつ事業を一層推
進することで、洪水被害のリス
クを低減します。

▼地域防災マップ改訂事業 739万円

現在のハザードマップを更
新します。

▼自主防災組織育成強化 事業 569万円

自主防災組織の設立推進の
ほか、要支援者が避難する計
画の策定を支援します。

しゅんせつとは、川に
たまっている土砂など
を取り除くことです

▼災害対応強化等ホーム ページ再構築事業 1799万円

災害情報が一目でわかるよ
う市のホームページを再構築
します。

▼湯原振興局庁舎整備・ 湯原分署移転改修事業 6億1299万円

移転整備に伴い防災拠点と
しての機能、消防署機能を強

▼認知症高齢者見守り事業 21万円

小型発信機を使い、行方不
明者の早期発見を図ります。

見守り事業、詳しくは
12ページに



建設課
太田一圭 技師



高齢者支援課
高坂明美 主任



安全・安心で魅力的な
地域づくり



力強い循環型の
地域経済づくり



持続可能な
真庭の環境づくり



夢ある子育て「ひと」
づくりと豊かな文化づくり



持続可能なまちづくり
を進めましょう



総合政策課
難波吉伸 上級主事

▼SDGs 未来集落形成
モデル事業
1473万円
湯原地域において、地域資
源の見直し、地域の魅力発信、
小型電気自動車の活用実証実
験などを行います。

▼SDGs 未来集落形成
調査事業 390万円
中山間地域活性化の研究者
と連携して集落の持続可能性
を調査します。

未来杜と市真庭づくりのためのしごと

エスディージーズ
いつまでも素敵なまちであるために、真庭市はSDGs
の取り組みをこれからも継続していきます。



SDGs…Sustainable Development Goals
「持続可能な開発目標」
経済・社会・環境をめぐる観点から、2015年
に国連で採択された17の目標。

▼SDGs 未来を担う若者活動支援
事業 563万円
若者が実施する新規イベン
トを、立ち上げから実施まで
支援します。

▼SDGs 推進活動支援
事業 120万円
市民の自主的なSDGs推
進活動を支援します。

▼持続可能な未来杜市推進
事業 495万円
JICAなどと連携し、子
どもたちの国際的な視野を養
うための取り組みを進めます。
また、SDGsのフォーラム
などを開催します。

▼旧遷喬尋常小学校備品
木製化事業 295万円
国指定重要文化財である旧
遷喬尋常小学校に昭和初期の
机といすを復刻します。

▼高等教育機関等立地
可能性調査 800万円
真庭市の特性を踏まえた多
様な教育機関の立地可能性調
査を実施します。

▼特色ある図書館整備事業
316万円
各図書館に地域の特色ある
蔵書の整備を行います。

4つの柱、その主要事業
は次のページから



そのための 大きな4つの柱となる主要事業

真庭市は今年度も市民の皆さんと一緒に「希望と元気な真庭」づくりに取り組みます。そのため、次の4つに特に重点を置き、予算を編成しています。



安全・安心で
魅力的な地域づくり



▼地域資源を生かした地域振興事業 1774万円

各振興局で地域資源を磨き上げます。また、各振興局・地域資源・人材のさらなる交流を進めるため、「やまびこフェスタ」や交流会など、地域と地域をつなぐ取り組みを行います。

▼小学校区単位での地域づくり事業 1363万円

昭和の合併前の小学校区単位は、文化・伝統・風習・歴史を共有して、地域住民の意識の共有が図りやすい範囲と言えます。ここに、集落支援員の配置などを行い、おむね小学校区を単位とした地域づくりを推進します。また、地域での空き家活用への応援も行っています。

各振興局の事業は
ページ下部にあります



▼障がい者雇用機会拡大事業 400万円

障がい者の就業を推進するため、一般企業や農業経営者などに対し、広く障がい者雇用への理解を促進します。雇用主に対して講座や体験会、相談会などを開催します。

(2ページに掲載済のもの)

▼地域防災マップ改定事業

▼自主防災組織育成強化事業

▼認知症高齢者見守り事業



力強い循環型の
地域経済づくり



▼移住・起業促進事業 1100万円

市内の担い手の不足や人口減少問題の解決を図るため、移住者、新規起業家を支援します。

▼真庭地域産業振興センター活用事業 400万円

バイオマスラボをリニューアルし、真庭市地域産業振興センターを設置し、バイオマスに限定しない幅広い産業の振興を図ります。また、新たに起業し、市内の地域資源の活用を行う人々を支援します。

▼真庭産材販路拡大マッチング事業 353万円

真庭の製材業の特色を生かしつつ、林業・木材産業の振興のため、建築材などの木材需要拡大を目指します。

▼有害鳥獣対策事業 8195万円

イノシシ、サル、シカなどの個体数の調整、電気柵など防護柵設置への支援、猟友会などへの支援を実施します。

▼真庭里海米ブランド化推進事業 144万円

牡蠣殻を土壌改良材に使った「真庭里海米」の生産拡大に取り組みます。

▼国際化推進事業 576万円

真庭産品の海外販路拡大の支援をします。訪日外国人観光客の受け入れ環境を整えます。

▼外国人労働者交流事業 48万円

市内の企業などで働く外国人労働者と地域住民との交流の促進などを行います。

世界に開かれた
真庭にしましょう



産業政策課
小谷文子 主事

(3ページに掲載済のもの)
▼旧遷喬尋常小学校備品木製化事業



安全・安心で
魅力的な地域づくり

地域資源を生かした地域振興事業
各振興局の事業を紹介します。

▼蒜山「千年続く山焼きを次の千年に」436万円 ●草原を保全する山焼きを継承するための防火帯整備や、茅の利活用のなりわい化 ●伝統工芸である「郷原漆器」「ガマ細工」の原材料を安定確保するために植栽し、循環する里山を整備 ●「山焼き・山菜採り」「茅刈り」「漆掻き」体験ツアーを実施

▼北房「商店街を拠点とした農泊の事業化」215万円 ●皆部商店街を拠点とし、滞在型観光と外国人旅行者の呼び込みに取り組む「農泊」を事業化 ●農泊の域外へのプロモーション、ガイド・通訳の人材を育成 ●大学と連携して伝統行事「お大師巡り」など地域資源の掘り起こし ●もみじ公園を活用したアウトドアによる交流事業を展開

▼落合「滞在型地域体験とライフスタイルの発信」285万円 ●上田地域において、地域滞在型の観光と学びを含めた体験コンテンツを軸にプロモーションを強化 ●別所地域において、地域資源の再利活用のために市内外の人を巻き込みながら「学び」「まち歩き」などを実施 ●落合地域の在勤の若者が集い、地域について語れる場をつくる

生ごみ等資源化施設
は2024年の稼働を
目指しています



環境課
平本祐樹 主事

持続可能な真庭の 環境づくり



▼舗装長寿命化事業 1億5000万円

市道を対象に舗装の状態を点検、分析し、補修すべき路線を選定することで、計画的に長寿命化を実施し、安全な通行、市民の利便性の向上のほか維持管理コストの縮減を図ります。

▼都市づくり計画策定事業 719万円

むかうべきまちづくりの方向性を計画します。拠点となる市街地の現状や課題を整理し、幅広い世代や地域から意見聴取を行い、専門家の意見を交えながら策定していきます。

（3ページに掲載のもの）

▼SDGs未来集落形成モデル事業

▼SDGs未来集落形成調査事業

▼持続可能な未来杜推進事業

（4ページに掲載のもの）

▼真庭里海米ブランド化推進事業

▼地域資源を生かした地域振興事業

▼共助による地域の「あし」 構築事業 279万円

事業所、NPO法人、地域住民組織など多様な主体による地域の実情に合う「地域内交通」の構築を支援します。

▼生ごみ等資源化施設を 核とした資源循環事業 1億1853万円

「生ごみ等資源化施設」を建設し、市全域の生ごみ、し尿、浄化槽汚泥を肥料に資源化します。また、「バイオ液肥スタンド」や「ごみ分別出前講座」などを実施します。



夢ある子育て「ひとびと」と豊かな文化づくり



▼こども園再編化検討事業 2578万円

検討委員会で、今後の園整備のあり方を検討し、整備方針を決定します。そのほか園の屋根改修など、良質で持続的な保育サービスが提供できる体制づくりを進めます。

▼放課後児童クラブ施設 整備事業 3837万円

安全・安心で、利便性の高い放課後児童クラブの活動場所を確保します。

▼英語教育充実事業 3747万円

グローバル社会を豊かに生きていくため、基盤となる英語力の向上、学習の充実と学びに向かう意欲の向上を図ります。

▼木製円卓で対話促進事業 119万円

教職員の対話を促進することで、チームで教育課題を解決できる環境を整えます。

▼明治の学び舎旧遷喬尋常小学校 活用検討事業 785万円

西日本を代表する明治の学び舎「旧遷喬尋常小学校」は、地域住民や観光客に愛され喜ばれる場です。受け継がれてきた学び舎を保存し、更なる活用を図ります。

▼真庭市民大学事業 114万円

真庭の歴史や文化、自然などについて学ぶ「真庭市民大学」を開催します。

みんなで素敵な
まちにしよう



真庭市キャラクター
まにぞう

（3ページに掲載のもの）

▼未来を担う若者活動支援事業

▼SDGs推進活動支援事業

▼高等教育機関等立地可能性調査事業

▼特色ある図書館整備事業

▼美甘「みかもむらプロモーション」 224万円

●特徴的な地域産品を中心に、地域自体の魅力や歴史などを含めた情報発信ツールを作成●地域拠点を活用し、人材育成を実施●企業版ふるさと納税による山焼き復活プロジェクトでは新たな観光ツールを確立

▼湯原「湯原の魅力を発見！」287万円

●二川地域への移住を促進するため、地域の魅力や過ごし方をまとめた小冊子作成と、地域をより深く感じてもらうための農業体験を実施●式内八社の魅力発信と人的交流を活発にするため、真庭観光局と連携したガイド実施と、社祭りの神輿担ぎや竹灯籠づくりなどで県内大学との連携を推進

▼勝山「勝山の魅力アップ」237万円

●地域振興組織が滞在型観光事業の高付加価値化を目指して行う「舟宿」を拠点とした取組みを支援するため、有識者を招いた勉強会の開催や担い手の育成を行う●大学と連携してウィキペディアを活用した外国人観光客の受け入れ体制を整備●若者と連携して木製立体マップを制作

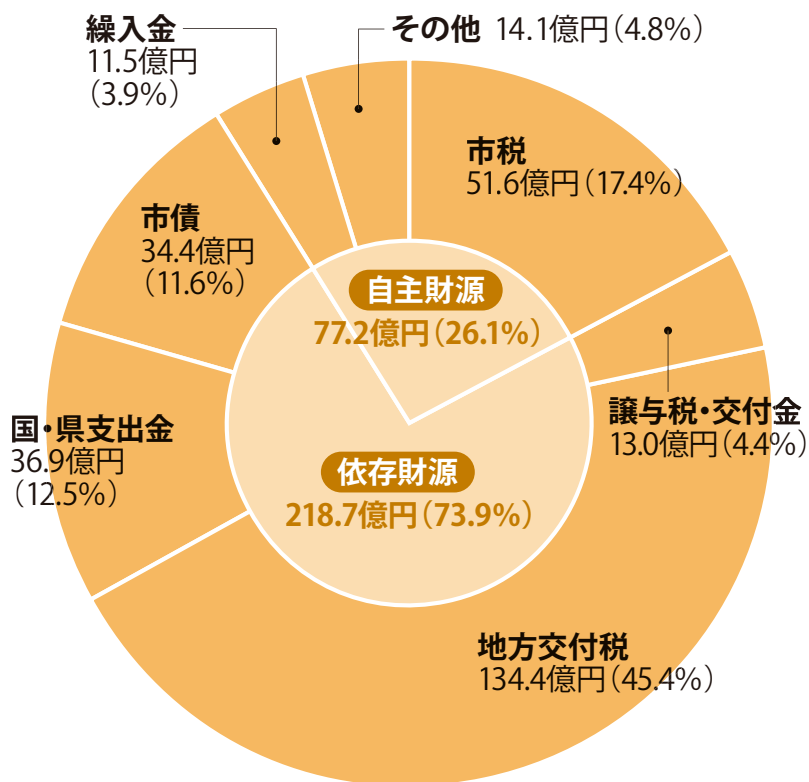
▼久世「中心市街地景観創造」90万円

●久世駅の「木テラス」、旧遷喬尋常小学校と商店街を結び、人の周遊を促進●人と人とのつながりが分かれるイベントの支援や、景観形成意識の高揚につながる集まりを開催●余野・櫻邑地区では、各団体や世代間の交流を促す事業を実施

一般会計

歳入 295億8,800万円

2019年度 予算



※()内は構成比

歳入の特徴

- ・市税…真庭産業団地への企業誘致の成果として固定資産税の増収など、前年度比 0.1%増。(51.6 億円)
- ・地方交付税…合併特例措置の終了に伴う段階的な縮減の影響が大きく 0.4%減。(134.4 億円)
- ・繰入金…「真庭市未来を担う人応援基金」「ふるさと真庭応援基金」「公共施設整備等基金」のほか、一般財源不足を補うため「財政調整基金」の繰入を計上。前年度比 0.6%減。

予算295億8,800万円(一般会計)を

市民1人当たりになると **652,450円**

(1円未満切り捨て)

※4月1日現在の人口45,349人で算出

今年度の一般会計予算を円グラフで表しました。端数調整処理のため合計額が一致しないことがあります。

用語の解説です

自主財源…市が独自に調達できる財源

依存財源…国や県などに依存するかたちで調達する財源

市税…市民税、固定資産税など皆さんに納めていただく税金

譲与税・交付金…国や県が税として徴収し、一定の基準によって地方自治体へ譲与されるもの

地方交付税…国から一般財源として配分される税

国・県支出金…各事業に対する国や県からの補助金など

市債…市の借入金で返済が2年以上にわたるもの



総務課
八木久美子 上級主事

特別会計と公営企業会計

特別会計	130億6,459万円 (0.0%)
国民健康保険	49億1,462万円 (△0.5%)
後期高齢者医療	7億6,626万円 (△1.6%)
介護保険	60億8,599万円 (1.1%)
介護保険(介護サービス事業勘定)	5,052万円 (0.5%)
簡易水道事業	9億9,278万円 (△1.1%)
浄化槽事業	8,683万円 (△6.5%)
津黒高原観光事業	2,078万円 (△27.5%)
クリエイト菅谷事業	757万円 (△13.5%)
温泉事業	1億3,924万円 (△0.8%)

公営企業会計	64億8,844万円 (△2.1%)
水道事業	11億4,753万円 (△2.6%)
下水道事業	34億4,254万円 (1.6%)
国民健康保険 湯原温泉病院事業	18億9,837万円 (7.9%)

※()内は対前年度比



特別会計や公営企業会計の不足分は一般会計から繰り出しています

一般会計から特別会計への繰出金

国民健康保険	4億4,546万円
後期高齢者医療	2億5,648万円
介護保険	9億814万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	2,947万円
簡易水道事業	3億8,002万円
浄化槽事業	7,365万円
津黒高原観光事業	2,068万円
クリエイト菅谷事業	757万円
温泉事業	2,058万円
合計	21億4,205万円

一般会計から公営企業会計への補助金

水道事業	4,868万円
下水道事業	13億6,652万円
国民健康保険湯原温泉病院事業	3億4,671万円
合計	17億6,191万円

真庭市の予算書などはホームページでもご覧いただけます。

▶ 当初予算および当初予算の概要

真庭市 予算

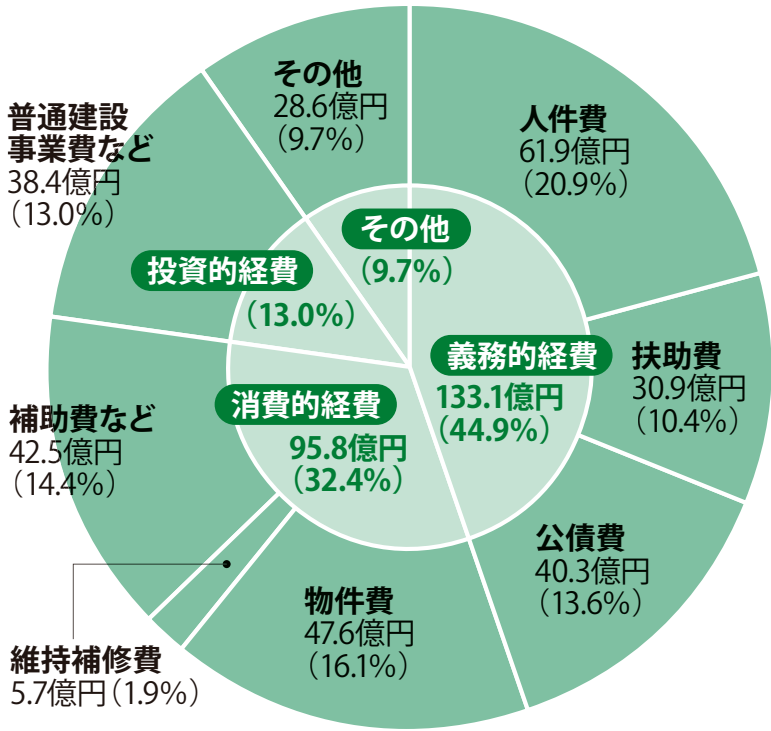
検索

▶ 真庭市議会での所信表明や諸報告

真庭市 所信表明

検索

一般会計歳出295億8,800万円



※()内は構成比

歳出の特徴

- ・ 義務的経費…任期付職員数の増加などにより 0.4%増。(133.1 億円)
- ・ 消費的経費…真庭産業団地への企業誘致に伴う奨励金や補助金の減少などにより 1.0%減。(95.8 億円)
- ・ 投資的経費…小学校空調設備設置事業、湯原振興局・消防湯原分署移転改修事業などの大型事業のため 27.0%増。(38.4 億円)

市民1人当たり652,450円の使い道を目的別に表したもの

議会費 5,044円	総務費 80,991円	民生費 170,123円	衛生費 60,328円
農林水産業費 37,679円	商工費 13,690円	土木費 63,199円	消防費 33,108円
教育費 82,016円	災害復旧費 2,414円	公債費 88,844円	その他 15,014円

人件費…職員給与や議員報酬など
扶助費…社会保障の一環として、生活困窮者、高齢者、児童、心身障がい者などに対して行われる支援に要する経費
公債費…市の借入金などを返済するための経費
維持補修費…市が管理する公共用施設などの維持に要する経費
補助費…各種団体への補助金など
普通建設事業費…道路や公共施設の建設事業に要する費用